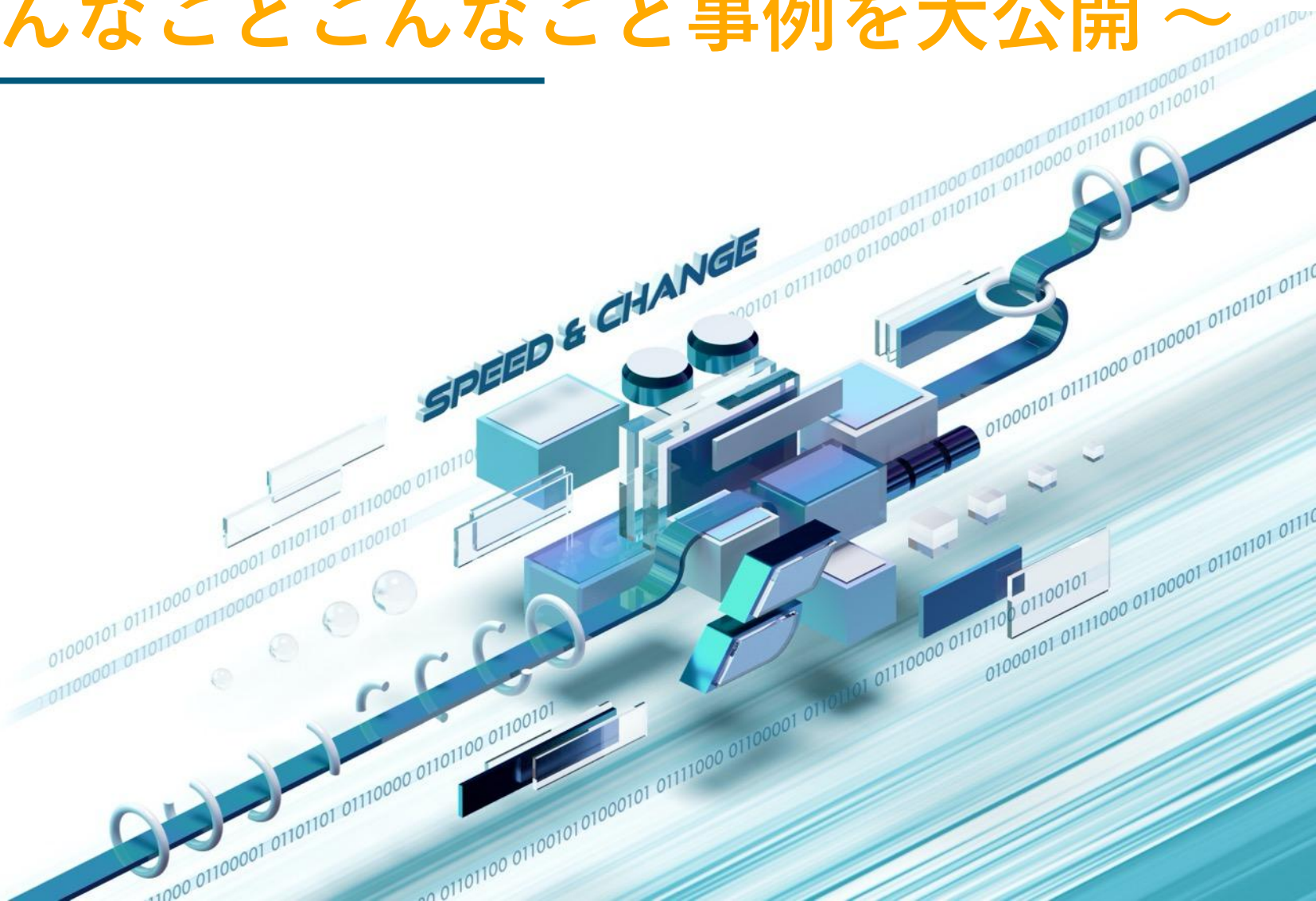


SharePoint Online でポータル作ってみました ～ 社内SEによるあんなことこんなこと事例を大公開～

株式会社ソフトクリエイト

戦略ビジネス部 技術推進Gr

技師 山口 泰志



自己紹介

2016年ソフトクリエイイト入社

Microsoft 365 ビジネスとか、ソフトクリ365倶楽部の立ち上げとかをだいたい一人でやって、熟してきて人。

趣味

- ・ 散歩、旅行、登山、ロードバイク

最近行ったところ

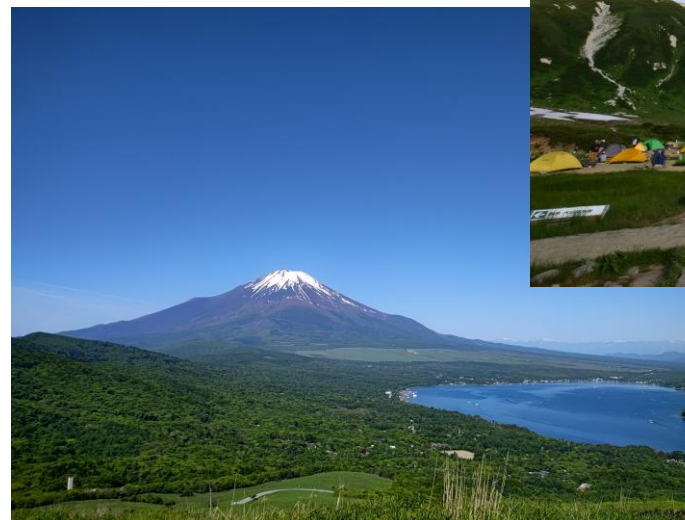
- ・ 木曽駒ヶ岳、八丈島、身延山、山中湖

メインデバイス

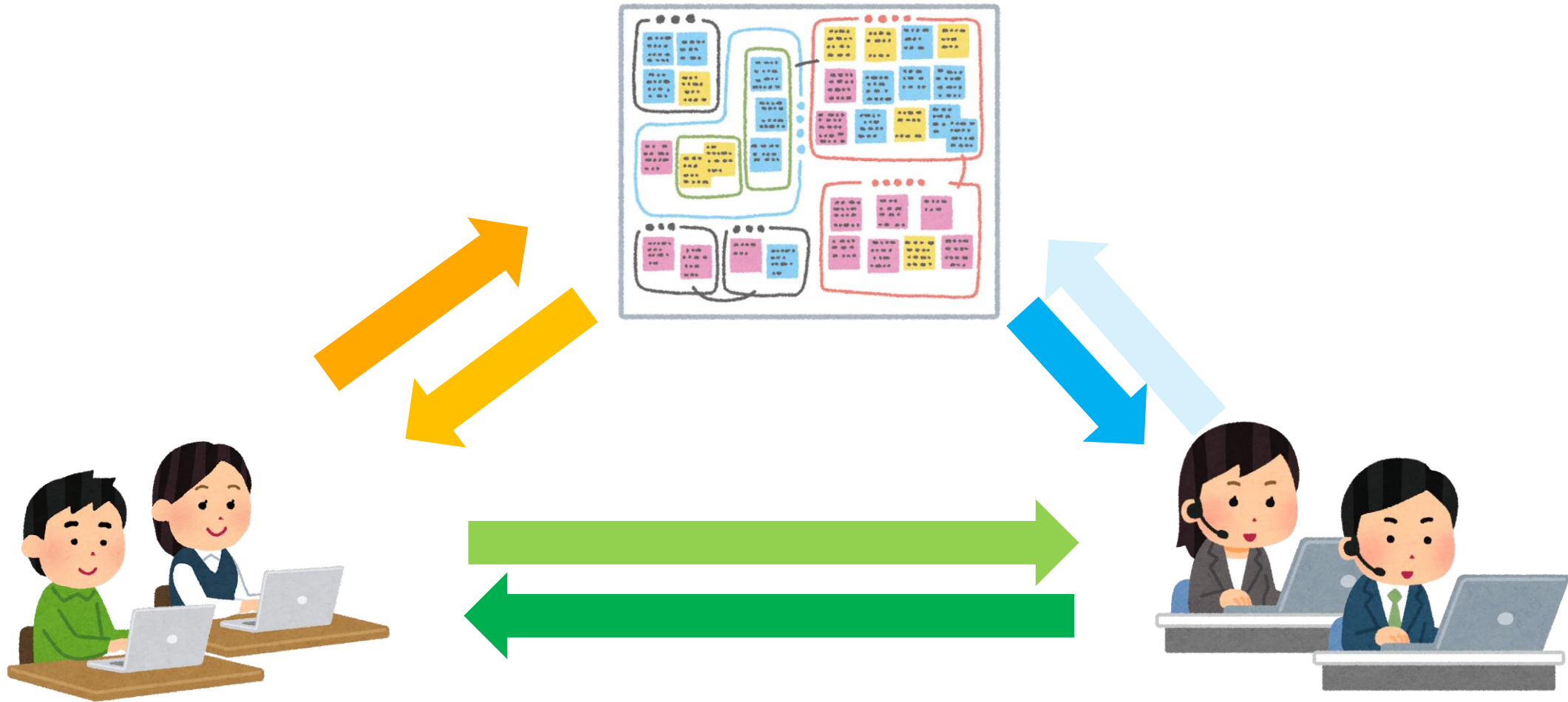
- ・ Surface Pro X
- ・ Google Pixel 7 Pro(BYOD利用)

サブデバイス

- ・ Surface Duo2
- ・ iPad



2.必要な情報やファイルがまとめられたサイトの準備が必要



3.特設サイトとして、何を利用するのが良いのか？



問い合わせ方法を考えると利用、運用的に適さない部分がある。



Teamsでも良いのではないかな？



サイト設計が大変、管理・更新者が限定される。



弊社グループ会社のCRMではあるが、話が大きくなるし、追加コストも掛かる。

4.Share Point Onlineを利用するメリット



- ・作成や拡張が容易で、追加コストが掛からない。
- ・サイトのアクセス権を確認、管理が可能。
- ・サイトおよびファイルのバックアップが自動的に作成される
- ・Officeドキュメント置き場&公開場所として利用できる。
- ・One Noteノートブック置き場&公開場所として利用できる。
→ WordやPDFファイルとして、出力する時に加工が容易。

5. 特設サイト用のShare Pointサイトの作成と初期Webパーツの整理

The screenshot displays the SharePoint Admin Center. On the left, a navigation pane lists various site management options. The main content area is titled 'アクティブなサイト' (Active Sites) and shows a table of existing sites. Below this, there are sections for '新しいサイトの作成' (Create new site) and 'チームサイト' (Team site). The 'チームサイト' section includes a description and a list of site types. The '新しいサイトの作成' section includes a description and a list of site types. The bottom part of the screenshot shows a preview of a site with various web parts like 'ニュース' (News), 'チームサイトの[ニュース]でチームに最新情報を伝える' (Share the latest news with your team on the [News] of the team site), 'クイックリンク' (Quick links), and 'ドキュメント' (Documents).

① SharePoint サイトを作成

② 初期配置されているセッションや Webパーツを整理

6. サイトへのアクセスを限定したい

アクセス許可

このサイトにアクセスできるユーザーを管理します。

サイトの共有

サイト所有者 - 完全制御 ①

サイトメンバ - 制限付き制御 ①

サイト閲覧者 - 制御なし ①

サイトの共有

メンバーが共有する方法を変更

ゲストの有効期限

組織では有効期限切れにするゲスト アクセスは必要ありません。

管理

このサイトに対するアクセス許可を持つ、その他のグループまたはユーザーがいます。確認するには、高度なアクセス許可の設定にアクセスしてください。

権限

アクセス許可レベル

アクセス要求の設定

サイト コレクションの管理者

管理

名前

mdbcampaign メンバ

mdbcampaign 閲覧者

mdbcampaign 所有者

種類

SharePoint グループ

SharePoint グループ

SharePoint グループ

アクセス許可レベル

編集

閲覧

フル コントロール

管理者

全ての権限(フルコントロール)

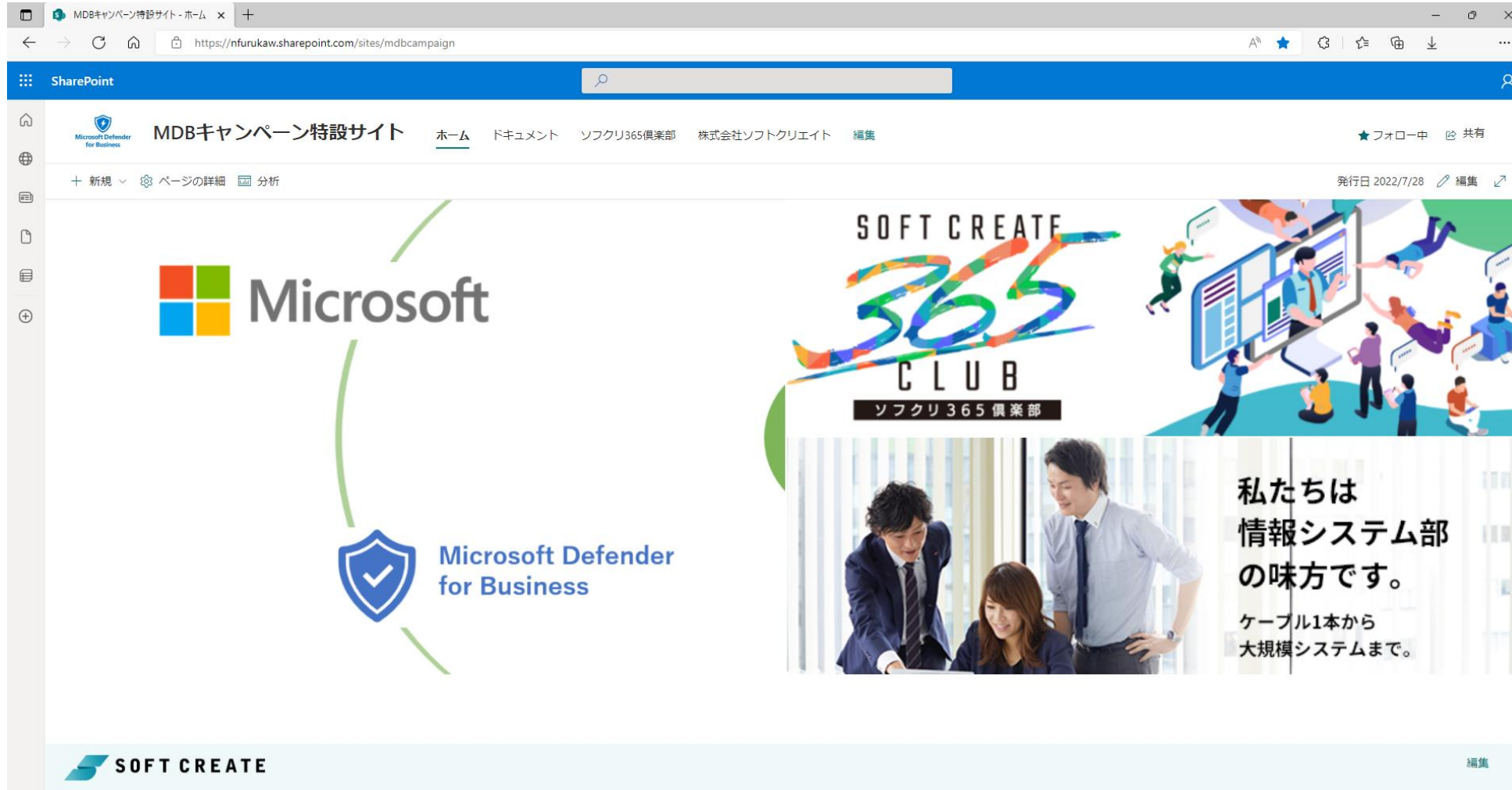
運営メンバー

編集と読み取り

一般メンバー

読み取り

7. シンプルにサイトを構成



8. ライブラリのフォルダー構造やファイル配置を決定



MD8キャンペーン特設サイト - ドキュメント

https://nfurukaw.sharepoint.com/sites/md8campaign/Shared%20Documents/Forms/AllItems.aspx

SharePoint

MD8キャンペーン特設サイト

ホーム | ドキュメント | ソフクリ365倶楽部 | 株式会社ソフクリエイト | 編集

+ 新規 | アップロード | グリッドビューでの編集 | 同期 | OneDrive へのショートカットの追加 | クリックアクセスにピン留めする | Excel にエクスポート | 自動化 | ... | すべてのドキュメント | ...

ドキュメント

名前	更新日時	更新者	+ 列の追加
1. 管理者向けTOIT	7月28日	山口 孝志(softcreate)	
2. 手順書テンプレート	7月28日	山口 孝志(softcreate)	
MD8 キャンペーン Q&Aリスト.xlsx	8月19日	樋口 穂(softcreate)	
MD8キャンペーン用ノートブック			

4. デバイス毎のアラート状況やセキュリティ情報が確認

① デバイス毎のアラートはもちろん

② デバイスの脆弱性や適用が必要な更新プログラムの確認も可能。

9. 仕様や導入作業にOneNoteのノートブックにて公開

The screenshot shows a OneNote application window with a purple header bar. The notebook is titled "Microsoft Defender for Business - キャンペーン". The left sidebar contains a table of contents with sections numbered 1 through 7. The main content area displays the details for section 1, "1.機能の有効化と構成".

Table of Contents:

Section	Content
1.概要・システム要件	1.機能の有効化と構成
2.初期対応	2.構成管理機能のMicrosoft Defender ファイ...
3.導入対応 ①ワークグループ環境・スタンドアロ...	2.1 Microsoft Defender ファイアウォールのカスタ...
3.導入対応 ②Active Directory環境	3.スクリプトでのオンボーディング(有効化)
3.導入対応 ③Microsoft Intuneによる展開	
4.検出テスト・管理画面	
5.一般ユーザーへの展開対応	
6.運用対応	
7.トラブルシューティング対応	

1.機能の有効化と構成

本ページでは、**ワークグループ環境、または、スタンドアローンPC管理用のMDB機能の有効化と構成方法**について、ご案内します。

■ **【前提】**
以下のセッションの1~4の内容を確認、対応済みであることをご確認ください。
[2.初期対応](#)

■ **【機能の有効化と構成手順】**
以下の手順にて、MDBの機能有効化と構成を実施します。

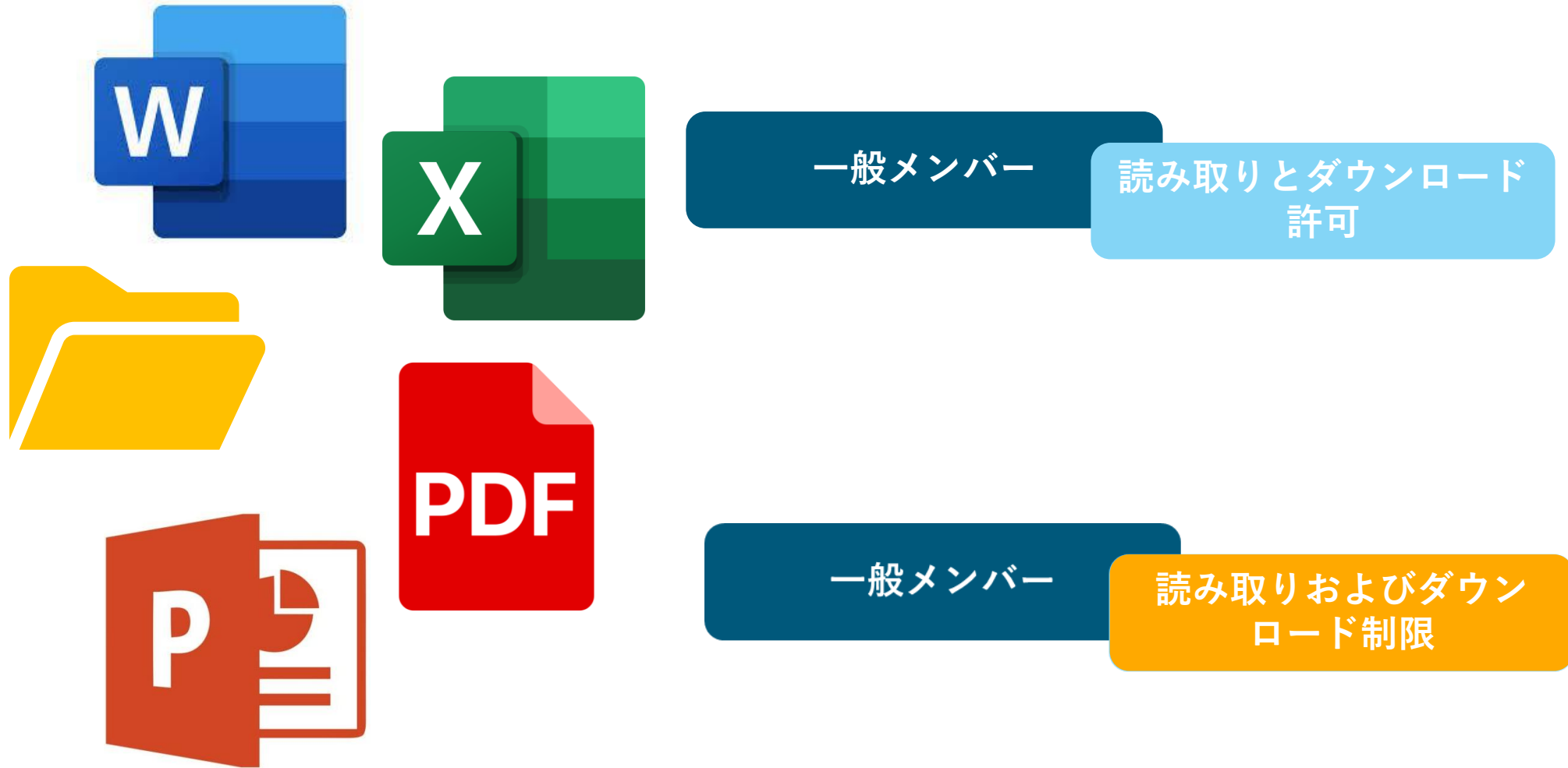
- Microsoft 365 管理センターの管理画面(<https://admin.microsoft.com>)に、全体管理者権限を持つユーザーでアクセスします。
- 管理センターメニューの「**セキュリティ**」をクリックします。

The screenshot also includes a preview of the Microsoft 365 Defender web interface, showing the "Security" section highlighted in the left navigation pane. The main content area of the web interface displays "ユーザーの管理" (User Management) and "デバイスの管理" (Device Management) sections.

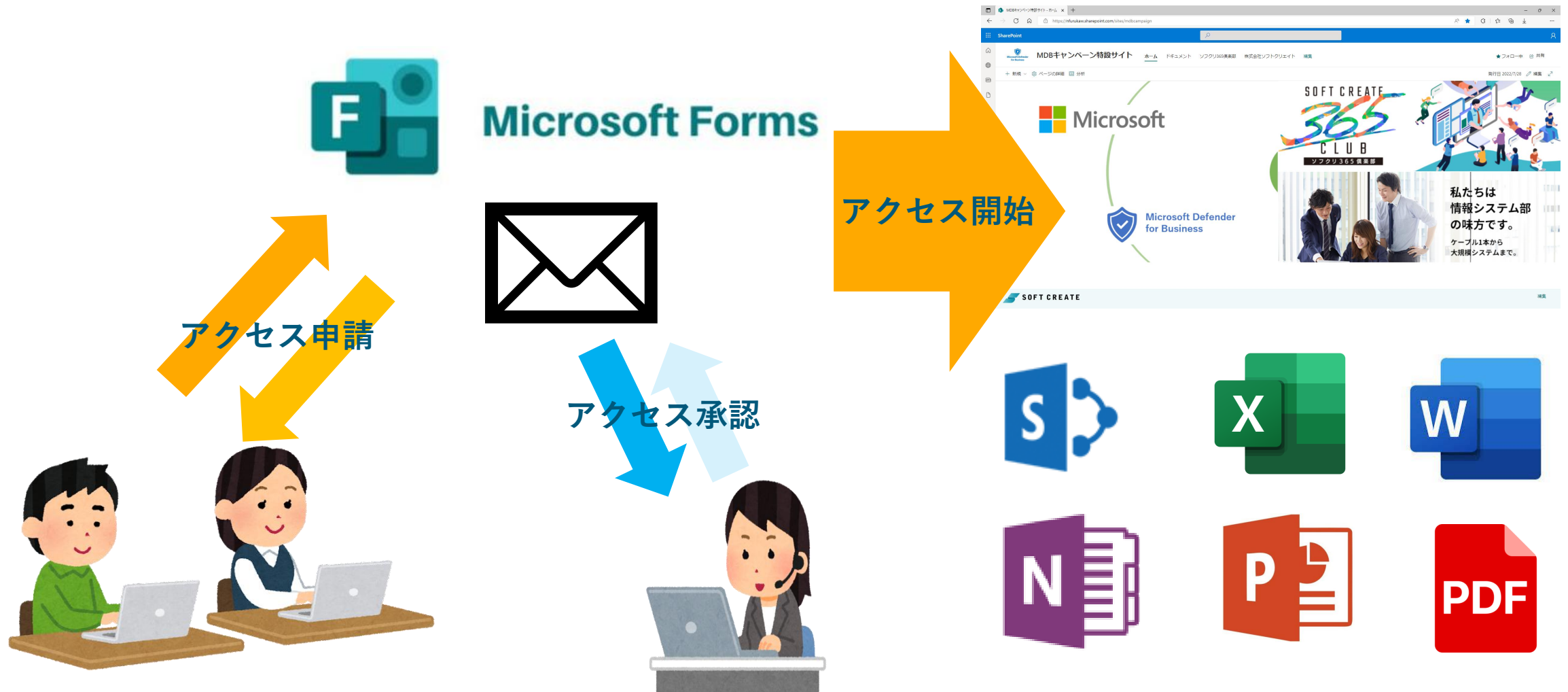
3. セキュリティセンター(Microsoft 365 Defender)が表示されたら、エンドポイントメニューの「**デバイスインベントリ**」をクリックします。

4. "お待ちください。データ用の新しい領域を準備して接続しています。"と表示されたら、データ用の領域の準備が完了するまで待ちます。(目安:10~20分)

10. 特定フォルダーについては、追加でアクセス権を個別に設定



11. 特設サイトへのアクセス開始までの流れ



13. 次回キャンペーン以降を対応するにあたり

1. サイトやドキュメントの更新についてのWebパーツの配置
2. OJT動画の公開ページを追加
3. デジタルナレッジの共有および公開や組織的な整備
4. よくあるお問い合わせをリスト化して、Microsoft Listで公開
5. Power Automate のワークフローで、申し込みや運用上必要な対応を自動化
6. クラウドバックアップの利用
7. ソフクリ365倶楽部の活動との連動



Microsoft Lists



Power Automate



AvePoint

Cloud Backup

ソフクリ365倶楽部

SOFT CREATE 365 CLUB

SOFT CREATE

15. 本日のまとめ

1. 組織のポータルサイトを作成できるサービスの選択肢は、多い。
2. Share Point Onlineは組織内で利用するポータル機能として、必要な機能を多く有している。
3. Share Point Onlineのサイトやフォルダー・ファイルについては、アクセス権を設定できるので、運用に応じて、適切なアクセス権検討、設定する。
4. 組織内で利用するのであれば、Webサイトを更新するよりも、OneNoteを公開する方が、色々メリットがある。
5. 必要な機能は後から、検討拡張していきましょう。

15. Share Point も Teams と同様に機能を拡張し続けている。

